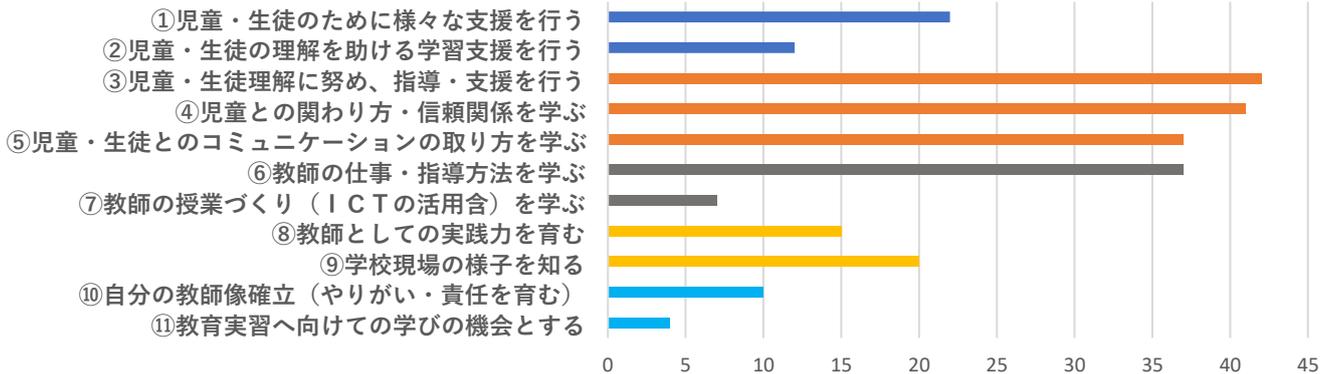




## SAT 活動の目標を意識し、有意義な活動を！！

第2回教職講座の最後に、今年度のSAT活動の目標をSAT-B・Cに参加している3年次生の皆さんにFormsにて回答してもらいました。記述式ですので複数の目標を示した方も多くいましたが、その回答内容全てを分類してみましたところ、つぎのような結果となりました。

R7年度 教育フィールド研究Ⅲ SAT活動の目標



- ①・②は、児童・生徒の支援に貢献することを目指した目標
- ③～⑤は、児童・生徒と自分の関係性を構築することを目指した目標
- ⑥・⑦は、教師力の向上を目指した目標
- ⑧・⑨は、学校現場活動ならではの実践力育成を目指した目標
- ⑩・⑪は、自分の今後の教師生活へ向けて、経験を通して学ぶことを意識した目標



今回の回答で最も多く掲げられた目標は上記の③～⑤の内容でした。このことから、多くの学生の皆さんはSAT活動を通じて児童・生徒理解に努め、信頼関係・良好なコミュニケーションが取れるよう頑張りたいという思いで臨んでいることが分かりました。教師としての指導は、良好な信頼関係の下で良い成果を生み出していくものです。ですので皆さんまずは良い関係を築けるよう、SAT活動を通じて積極的に児童・生徒と関わり、試行錯誤しながら自分自身で学び取ってほしいと思います。

今回、皆さんが示してくれたSAT活動目標はどれも素晴らしいものでした。ただし1点、心に留めておいてほしいことがあります。前回の「SAT通信」でもお伝えしましたが、「SAT活動は、子どもの学習支援や学習意欲向上のため」に始まった活動です。確かに学生の皆さんにとっては貴重な学びの機会でもあります。支援に入る児童・生徒達は決して練習相手ではありません。皆さんが授業に入り学習支援を行う目の前の子ども達の学習意欲の向上や、より良い成長のためにSAT活動があるという大前提を忘れず、今後の活動を更に頑張してほしいと思います。

### 仲間の「目標」紹介

- \*教育現場を間近に見て学べる大きな機会なので、授業の仕方・子どもたちとの関わり方などをしっかり学び自分のものにする。子どもたちとたくさんコミュニケーションをとり、接し方、関わり方について自分なりに形にできるようにする。
- \*毎回の活動で子どもたちと積極的に関わり、「1人の大人」として信頼関係を築いていきたい。また、講座内で話し合ったことを活動に活かせるように意識していきたい。
- \*子どもに寄り添い、子どもの可能性や良さを引き出しながら教師に向けての実践力を高める。
- \*児童・生徒の学習活動を支援することを第一目的とする。その上で、児童・生徒との接し方や対応の仕方を学んでいきたい。
- \*1年間を通して子供と関わる上での言葉掛けや支援方法を、実際の現場実習や先生の指導方法を通して学んでいきたい。また、子供の学習に対する躓きを解消できるような支援をできるようにする。

《お願い》 最近SAT活動に行く際、上履きを忘れる人がいるようです。持ち物を確認してください。教育実習と同様の意識で、服装・頭髪・装飾類・イヤフォン等、注意して参加してください。